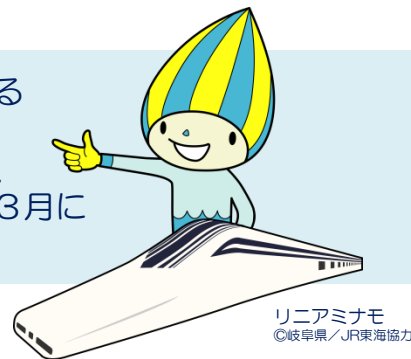


岐阜県リニア中央新幹線活用戦略

県、県内全市町村、観光団体、産業経済団体、有識者からなる「**岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会**」では、リニア中央新幹線の開業効果を県内全域に最大限に波及させ、岐阜県の地域づくりを戦略的に進めていくため、平成26年3月に「**岐阜県リニア中央新幹線活用戦略**」を策定しました。



岐阜県とリニア中央新幹線

リニア岐阜県駅

中津川市千旦林地区に設置される地上駅。JR中央本線の美乃坂本駅に近接して設置されます。ノンストップの場合、東京へは34分、名古屋へは13分と試算されています。

中部総合車両基地

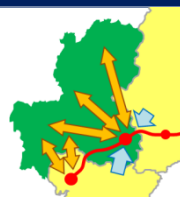
東京-名古屋間で2か所設置される車両基地のうち、唯一工場が付帯しています。



戦略の視点

1 広域的に効果を波及

- 既存の交通ネットワークとの連携や再構築、交通隘路の克服を進め、「岐阜県の東の新しい玄関口」リニア岐阜県駅の県内アクセス圏域を拡大
- 名古屋市ターミナル駅の活用も視野に入れて検討
- リニア岐阜県駅に近い長野県南西部及び愛知県北東部からの利用も念頭に検討



2 大都市機能を分担

- リニア中央新幹線によって東京・名古屋・大阪の3大都市圏が約1時間で結ばれ、世界にも類例のない巨大な都市集積圏域が形成
- 東京圏の中核機能のバックアップ場所として、同時被災の可能性の低さ、容易で確実なアクセスから、リニア岐阜県駅周辺は優位



3 岐阜県独自の魅力を発揮

- 都市部や海外からの訪問客から行き先として選択されるためには、地域独自の魅力を発揮することが重要
- 「清流の国ぎふ」の日本らしい風景・景観や、1000年を超える伝統を持つ地場産業や文化といった、岐阜県独自の地域資源を地域づくりのモチーフとして積極的に採用



観光振興・まちづくり戦略

1 「東美濃ふるさと街道」 (新たな南北観光軸)

- 明知鉄道のリニア岐阜県駅への直結の検討など沿線の観光資源開発
- 国道257号沿線の道の駅整備や地歌舞伎芝居小屋の活用
- 首都圏でのプロモーション など



2 「いにしえ街道」 (新たな東西観光軸)

- 中山道、東山道などを活かした街道観光をを振興
- 地域産業の要素を取り入れた観光資源開発
- ウォーキングをテーマにした観光商品開発
- JR在来線の輸送力強化の働きかけ など



3 リニア中央新幹線の 観光資源としての活用

- リニア走行のビューポイントを整備
- 車両基地の一般公開の働きかけ
- リニア中央新幹線を活用した産業観光ルートの開発・商品造成
- リニアミナモの活用 など



4 岐阜県全域への 観光振興効果の波及

- 県産品を活用した土産物などの商品開発・販路開拓
- リニア岐阜県駅、名古屋市ターミナル駅、岐阜羽島駅、北陸新幹線からの広域観光ルートの設定
- 海外誘客の推進
- 県民・市民全体のおもてなし意識の醸成 など

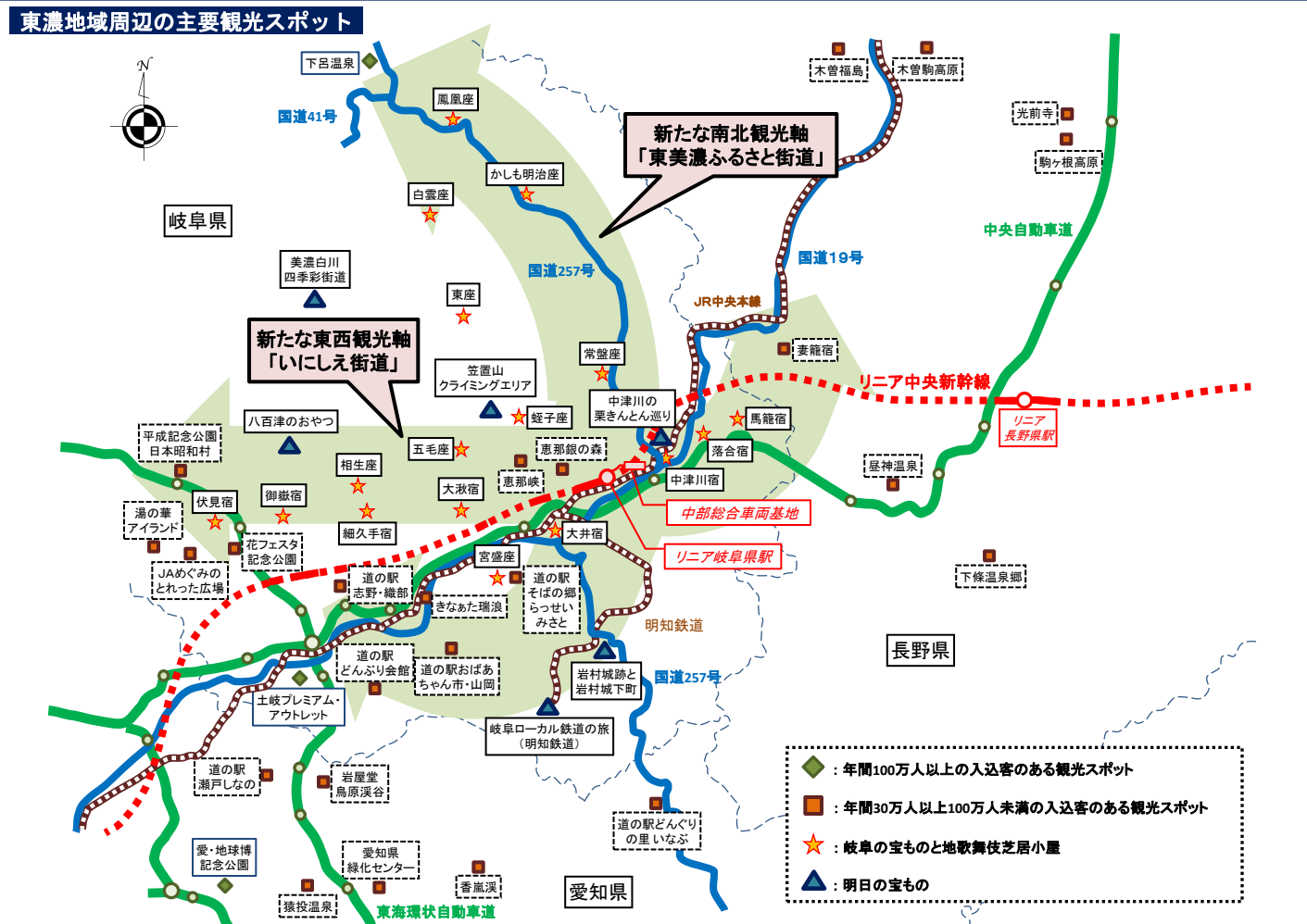
5 観光誘客と連携した 移住・定住人口の拡大

- 農業・林業などの体験観光と連携し、移住・定住候補地としてPR
- ニーズに合った環境の整備や空き家情報の提供などの条件整備
- 立地する企業の従業員の定住促進 など



6 空き家のオフィス活用

- 空き家をスモールオフィスとして活用できるように、空き屋情報の整理・提供
- ワンストップで対応できる体制整備
- 高速ネットワークなどの情報環境整備
- テレワーク拠点のニーズ調査 など



◆ : 年間100万人以上の入込客のある観光スポット
 ■ : 年間30万人以上100万人未満の入込客のある観光スポット
 ☆ : 岐阜の宝ものと地歌舞伎芝居小屋
 ▲ : 明日の宝もの

産業振興戦略

1 業務機能誘致、本社機能誘致

- 事業所の立地適地を調査し、受入れ体制を整備
- リニア岐阜県駅周辺に、業務系の業種・施設を誘致
- 駅周辺に本社機能に移転する企業に対して支援する制度の創設を働きかけ など



2 行政中枢機能のバックアップ施設誘致

- 東京圏とアクセスが容易で、同時被災可能性が低いことをアピールし、バックアップ施設を誘致
- バックアップ施設建設のための条件等を整理 など



3 工場誘致

- 東海環状自動車道、中央自動車道及びリニア中央新幹線が交差する「東濃クロスエリア」に工場を誘致
- 推進体制の構築
- 企業ニーズに応じた人材育成 など



4 車両基地の地域経済への効果波及

- リニア車両製造等関連企業の動向調査と進出支援
- 地元雇用のための人材の育成
- 従業員の定住促進
- 関連する大学・研究施設の誘致 など



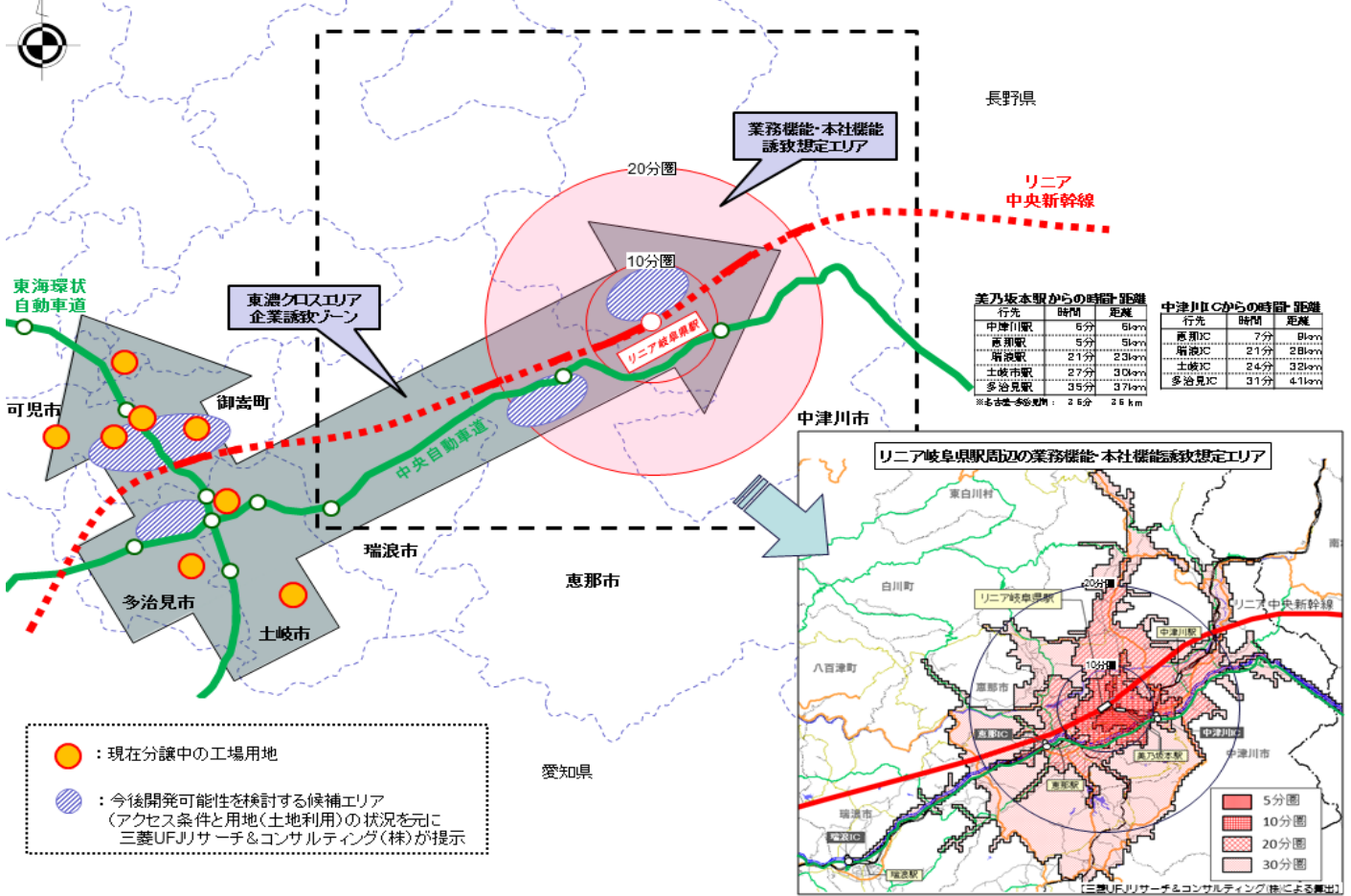
5 建設段階の経済効果波及

- 県内企業の受注機会の拡大
- 県産品活用の働きかけ
- 工事関係者の衣食住の需要を地域内で受け止め
- 建設現場を見学ポイントとして活用
- 建設発生土の住宅・工業用地などへの有効活用 など



▲山梨リニア実験線で走行する新型車両「L0系」(写真提供:山梨県)

リニア沿線の工場用地候補



基盤整備戦略

1 駅及び駅周辺整備

- 駅を岐阜県独自の魅力を発信するランドマークとして整備
- 乗換えの機能を重視した駅・駅前広場の整備 (美乃坂本駅との連絡施設、美乃坂本駅の改修など)
- 駐車場を必要数確保
- レンタカー施設、バス、タクシーの乗換えスペースの整備
- 観光案内所、物産販売店、飲食店の整備
- 「清流の国ぎふ」が感じられる空間を整備 など

2 アクセス道路整備

- 2027年度の名古屋開業を見据えリニア岐阜県駅から県内全域への道路アクセスを強化
- 南北アクセス軸を形成するため濃飛横断自動車道を新たに建設
- 東西アクセス強化のため、一般国道19号瑞浪恵那道路を整備
- その他優先度を勘案しながら駅のアクセス圏域拡大のための道路を計画 など



3 県内鉄道交通ネットワーク強化

- リニア岐阜県駅への停車本数の確保、速達型列車の停車についての動きかけの実施
- 岐阜駅-美乃坂本駅間の直通列車の運行、特急「しなの」の美乃坂本駅停車など、在来線の輸送力強化についての動きかけの実施
- 駅のバリアフリー化 など

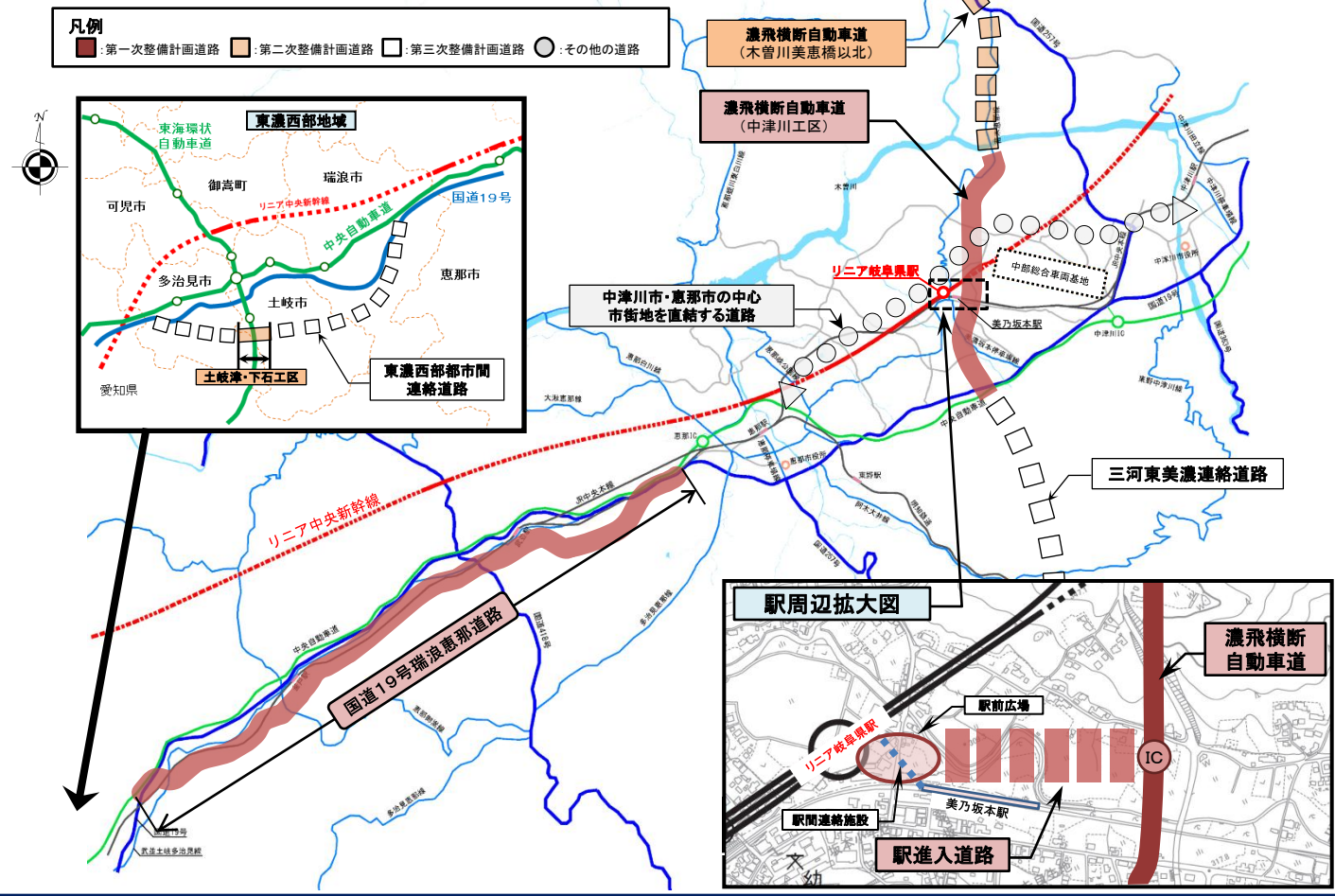


4 リニア岐阜県駅からのバスネットワーク整備

- リニア岐阜県駅を、県内や長野県の観光地への長距離観光バス拠点として整備
- 観光目的と生活目的を分離したバス乗降場を整備
- リニア開業に伴う路線バスネットワークなどの検討 など



リニア岐阜県駅へのアクセス道路整備



【事務局】
 〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
 岐阜県都市建築部公共交通課
 TEL 058-272-1111 (代表)
 FAX 058-278-2765
 E-MAI c11134@pref.gifu.lg.jp